

## 実践 2

# 個性化教育と ESD

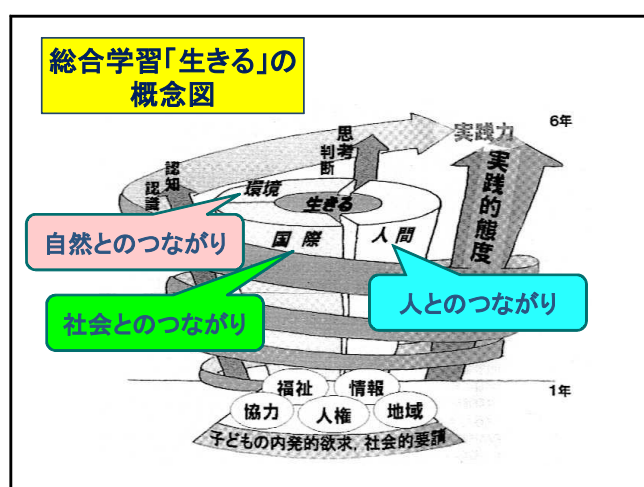
### —総合学習「生きる」を ESD の視点で見直し、学校ぐるみで取り組む—

東浦町立緒川小学校 原 伊津子

#### 1 はじめに

本校は、校舎内にオープン・スペースをもつ学校（オープン・スクール）として、今年で35年目を迎えた。これまで、一貫して「学習の主体者は子どもである」と捉え、個別化・個性化教育の研究・実践を積み重ねてきた。総合学習の実践歴も長く、「総合的な学習の時間」が創設される以前から、「生きる」を1年から6年までの共通主題とし、1・2年生は、生活科の目標や内容を取り込みつつ、3年生以上の総合的な学習の時間との関連を考えながら、総合学習「生きる」として6年間の継続的な実践を行ってきた。

総合学習の長い実践を支えてきたのは、地域のゲストティーチャーによる継続的な支援であると言



える。しかし、長年にわたる実践で同じような学習が繰り返されることによって、ゲストティーチャーの支援を当たり前のもので受け止めるようになり、体験活動がそれだけで終わるような学習になってしまうこともあった。

そんな折に、本校は「ESD」と出会った。そして、総合学習「生きる」の現状をESDの視点で見直し、体験だけでなく自分たちで考え、問題を解決し、探究的な学習になるように改善しながら、ESDの研究・実践に取り組み始めた。

#### 2 研究の経過

(1) 平成22年度（1年目）… ESD について理解し、研究方法を探る。

ほとんどの職員には「ESD」はなじみが薄い概念であったので、まずは ESD を理解しようと講師の先生を招いて学習会を行った。また、代表者が校外の研修会に参加し、研究先進校を視察した。事後には学んだことを校内で全職員に報告し、共通理解を図った。そして、先進校の実践事例を参考にして本校に合った ESD の導入方法を探っていた。

ESD 実践校のほとんどは、「ESD は新しく何かを始めるというものではない。今までの学習活動を見直したり、少し手を加えたりするだけで実践できる」と述べている。そこで、本校でも現在の各学年の「年間指導計画」と「総合学習のカリキュラム」を見直して、総合及び関連する教科の中で ESD の考え方が生かされる単元を探し、「ESD カレンダー」にまとめることにした。

#### 総合学習「生きる」における各学年の活動

学年	活動の方向性	キーワード
1	学年を「くに」ととらえ、四季の行事を踏まえた活動をする。	【くにの一年】
2	自分自身を踏まえて、地域の自然や人々に触れる活動をする。	【探検】
3	地域に根ざした方々から学ぶ活動をする。	【交流】
4	身の回りの社会生活など、暮らしに関わる活動をする。	【暮らし】
5	動植物、人間の生命に関わる活動をする。	【いのち】
6	さまざまな人の生き方から学ぶ活動をする。	【生き方】

(2) 平成23年度（2年目）…研究方法に従って実践し、検証する。

各学年でE S Dカレンダーを作成した。その際、具体的に単元の学習活動をE S Dの視点で見直そうとしていくと、本校の課題であった「体験だけの活動」が「探究的な学習」に変わるために、

- ①活動内容が「自分事」になるような「仕掛け」をする
- ②「仕掛け」を切り口に、答えが多様で正答の定まらない問いを投げかけて話し合いをさせる
- ③学習の成果を表現する場のもち方を工夫することによって、自分の生活に発展させていく

といった方向性が見えてきた。

これらの方向性に沿ってE S Dを取り入れた授業づくりを行い、以下の単元で実践した。

ア 5年「お米を育てて植物の命を学ぼう」（自然とのつながり・体験型活動・地域連携・主体的な思考や行動・現実的課題に取り組む）

学校の田んぼでの米作りに加えて、バケツを使った一人一鉢の米作りに取り組み、農薬の使用や農家が抱える問題について話し合い、自分たちにできることを実行した。子どもたちは、米作りを「自分事」と捉えて愛着をもって育て、米作りに関わるいろいろな問題について真剣に考え、話し合うことができた。また収穫したお米に生命を感じている様子も見られた。



成長した一人一鉢のバケツ稲

イ 1年「にこにこ大きくせん『お手つだいめい人になろう』」（人とのつながり・社会とのつながり・主体的な思考や行動・自己肯定感）

お母さんやおばあさんに弟子入りしてお手伝いの技を磨いた。子どもたちは、熟練した技にあこがれ、お手伝いが上手になりたいと願って懸命に練習をした。そして、上達したお手伝いを家族の前で堂々と披露した。「お手伝い名人認定証」を受け取り、家族に抱きしめてもらった子どもたちは、どの子も笑顔で、達成感、満足感を味わっている様子が見えた。お手伝いはその後も継続して行い、家族のために役立っている自分を感じ、自己肯定感を高めていった。



「お手伝い名人認定証」をもらう

ウ 2年「あんなに小さかったのに」（人とのつながり・生命尊重・多様性の尊重・自己肯定感）

自分の小さい頃の出来事やそのときの家族の気持ちを調べ、学級の友達と伝え合った。また、家族からだけでなく、父、母、祖母、助産師の立場の人からも赤ちゃんが生まれたときの様子や気持ちを聞いたり、実際に赤ちゃんを抱いて触れ合ったりした。子どもたちは、自分を育ててくれた人の思いに気づき、見守られ、愛されていることを実感し、自己肯定感を高めていった。



赤ちゃんとお手つだいをして触れ合う

エ 5年「人のいのちについて考えよう」（人とのつながり・生命尊重・多様な立場の人と学ぶ）

東日本大震災やそこから派生した事故や災害について、被災地で支援活動を行った自衛隊の方、理学療法士の方、ボランティアの方などから直接、話を聞いた。子どもたちは、図書資料やインターネットでの調べでは得られない学習をすることができた。そして、がれきの処理の問題について話し合ったり、被害に遭われた「いのち」について考えて命の大切さや尊さに気付いたり、望ましい未来を描いたりすることができた。



自衛隊の方から話を聞く

また、E S Dの推進拠点である「ユネスコスクール」に加盟申請し、平成23年11月29日に県内公立小中学校で初めて承認された。

2年間の研究によってE S Dについての理解が深まり、授業やカリキュラムをE S Dの視点で見直し改善することができるようになってきた。同時に、子どもたちの学びが変わり、次の学びへの意欲が高まっていく姿も多く見られた。しかし、基になるカリキュラムがあるだけに、十分に改善できないまま学習を進めてしまった学年もあり、学校全体での取組とは言えなかった。



校内に飾られた  
ユネスコスクールのプレート

### 3 研究の目的

昨年度に引き続き、総合学習「生きる」をE S Dの視点で見直し、体験活動だけでなく探究的な学習になるように改善を進める。そのために、各学年で単元開発や授業づくりを行う。さらに、6年間を見通し、発達段階に応じて体系的・系統的に研究・実践していくことによって、学校全体で持続的にE S Dに取り組む方法を模索していく。

### 4 研究の方法

#### (1) E S Dの視点で見直した総合学習「生きる」のカリキュラム（E S Dカレンダー）づくり

総合学習「生きる」を中心に、教科との関連を意識しながら年間計画を立て、それぞれの学習活動にE S Dの視点を位置付ける。

- ①これまでの総合学習「生きる」の各活動を「自然とのつながり」「社会とのつながり」「人とのつながり」の3つに整理する。
- ②E S Dの視点で見直し、よりE S Dの方向性と合致するように学習活動を改善する。
- ③よりE S Dの方向性と合致するように、関連する教科等の学習内容をカリキュラム上に位置付ける。
- ④それぞれの活動に関わるE S Dの視点を書き加え、E S Dカレンダーとする。

## (2) ESDの視点を生かした授業づくり

国立教育政策研究所の「学校における持続可能な発展のための教育（ESD）に関する研究 最終報告」に示された「ESDの視点を生かした授業づくり」を参考にして、実践の分析と改善を行う。

- ①従来の実践の「持続可能な社会づくりの構成概念」と「ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」について、「ESDの視点表」を用いて分析する。
- ②本実践がESDの視点を生かした授業になるように、「ESDの視点表」を用いて改善点を明確にする。
- ③本実践における教材のつながり、人のつながり、能力・態度のつながりを「ESDの視点に立った学習指導を進める上での留意事項」としてまとめる。

以上のような方法で、各学年で実践を始めた。その中で、6年の総合を中心とした合科的単元「国際人になろう」の実践について紹介する。

## 5 研究の内容

本校の6年の総合学習「生きる」のキーワードは「生き方」である。国際理解や自国文化の理解等に関わる体験学習を通して、地域の人々や社会で活躍している人々を見つめながらさまざまな生き方を知り、自分も社会の一員として生きようとする実践力を育むことをねらいとしている。

国際理解と自国文化の理解について学習する単元「国際人になろう」では、図書資料やインターネットでの調べ学習に加えて、民族博物館「リトルワールド」での見学や体験を通して、外国の生活や文化についての理解を深めていくという展開で学習を進めていた。「参加体験型」の学習にはなっているものの、実際に外国人に会ったり交流したりする活動は取り入れておらず、ESDの視点としては不十分で改善の余地が残されていた。

この単元と、6年総合学習の年間計画を、以下のように改善した。

### (1) ESDカレンダーづくりによるカリキュラムの見直し

今年度、新たに国際交流の学習として、ジャパンアートマイル（JAM）が主催する「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」3)に取り組むことにした。このプロジェクトは、JAMに紹介してもらった海外のパートナー校とインターネットを使って交流し、共通のテーマで協働学習した後に、半分ずつ絵を描いて1枚の壁画（1.5m×3.6mの大型絵画）を完成させ、お互いに鑑賞し合うものである。国際理解教育を教育現場で実現する有効なツールとして高い評価を受け、日本全国、そして世界に広がっている。

この取組によって、交流相手を通して生の異文化に接し、相手を理解する（異文化理解）とともに、自分たちの地域や文化を調べて伝えることで、自分たちのよさを再確認する（自国文化理解）こともできると考えられる。また、自己紹介や壁画の共同制作を通して、自分の思いを表現したり伝えたりする力（コミュニケーション能力）を伸ばすことも期待できる。

このようなカリキュラムの見直しをして、ESDカレンダーを作成した。以下に、6年のESDカレンダーを示す。

ESDの視点	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     活動を考え、テーマを決めよう②                 </div> <p>主体的な思考</p>										
自然とのつながり											
社会とのつながり											
人とのつながり	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                         国際人になろう⑩                          外国の生活や文化について調べよう                     </div> <p>異文化を知る ALTにインタビュー リトルワールド訪問 国際理解 多様性尊重</p>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         国際人になろう⑧                          修学旅行を創ろう                     </div> <p>分散研修 体験型活動・自国文化理解</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         国際人になろう⑪                          アートマイルプロジェクトに取り組み、韓国の小学校と国際交流をしよう                     </div> <p>自己紹介・テーマ交流・構図決め・壁画制作・鑑賞 自国文化理解・異文化理解・他者と協力・コミュニケーション</p>				
教科等との関連	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;道徳&gt; 広い心で世界の人々と                     </div> <p>日本の文化に誇りをもつ</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;家庭&gt; くふうしよう！季節に合うくらし                     </div> <p>気候に合わせたくらしの工夫</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;社会&gt; 日本とつながりの深い国々                     </div> <p>異なる文化や習慣を理解する 異文化理解</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;社会&gt; 国際連合と日本人の役割                     </div> <p>国際社会の平和と発展 国際貢献</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;社会&gt; 新しい国づくりをめざす                     </div> <p>天皇を中心とする政治の仕組み 自国文化理解</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;外国語活動&gt; Let's go to Italy.                     </div> <p>思いが伝わるように表現する コミュニケーション</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;国語&gt; 随筆を書こう                     </div> <p>経験したことについて考えをまとめて書く</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         最後の学習を創ろう⑭                     </div> <p>恩師・保護者への感謝の会 愛校作業・感謝のプレゼント 最後の学習での呼びかけ 家族・支えてくれた人への感謝 主体的な思考・望ましい未来を描く</p>		

## (2) ESDの視点を生かした授業づくり

### ア 従来の実践

#### (ア) 単元目標

異文化に視野を広げ、世界には日本と違ったさまざまな文化や民族があることを知る。また、自分たちとは異なる文化を尊重する態度を養うことで、自国文化のすばらしさに改めて気付き、興味を深める。

#### (イ) ESDの視点表を用いた実践授業分析

従来本単元では、家庭科の学習「気候に合わせたくらしの工夫」から世界の国々の暮らしに目を向けさせてきた。図書資料やインターネットで世界の建物や衣装などを調べ、民族博物館「リトルワールド」で見学や体験をして、世界にはさまざまな文化があることを学ぶことによって（「多様性」※1）それらがどんな条件と関連しているのかを考える力を育てたいと考えてきた。（「多面的・総合的に考える力」※2）

また、世界の国々と日本を比較し、それぞれのよさに気付き、互いに関わり合っていることを学ぶことによって（「相互性」※3）自分も世界の人々とながらつながっていて、国際人としてそのつながりを大切にする態度を育てることを目標としてきた。（「つながりを尊重する態度」※4）（表1）

【表1：従来の実践の分析】

単元名「国際人になろう」 学習内容 世界にはさまざまな文化や民族があることを知り、異文化を尊重する態度を養う。														
持続可能な社会づくりの構成概念							ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度							
I 多 様 性	II 相 互 性	III 有 限 性	IV 公 平 性	V 連 携 性	VI 責 任 性	VII そ の 他	① 批 判 的 に 考 え る 力	② 計 画 を 立 て る 力	③ 多 面 的 ・ 総 合 的 に 考 え る 力	④ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を 行 う 力	⑤ 他 者 と 協 力 す る 態 度	⑥ つ な が り を 尊 重 す る 態 度	⑦ 進 ん で 参 加 す る 態 度	⑧ そ の 他
【多様】 ※1	【相互】 ※3	【有限】	【公平】	【連携】	【責任】	【他】	《批判》	《未来》	《多面》 ※2	《伝達》	《協力》	《関連》 ※4	《参加》	《他》

### イ ESDの視点を生かした授業づくり

#### (ア) ESDの視点表による改善点の明確化

本実践においては、外国との交流として韓国の小学生との「アートマイルプロジェクト」に取り組む。ここにおける、ESDの視点とは、p.38表2に示す通り、「連携性」「責任性」の概念を獲得するとともに、「未来像を予測して計画を立てる力」「コミュニケーションを行う力」「他者と協力する態度」を育てることを狙うものである。

#### 【持続可能な社会づくりの構成概念】

##### 改善点A

構成概念V連携性・・・「アートマイルプロジェクト」の相手国について理解し、交流を深めながら互いに協力して一つの作品を創り上げる。

##### 改善点B

構成概念Ⅵ責任性・・・相手国と日本のつながりを知ることから、我が国の国際社会の中での立場に気付き、望ましい将来像を描きながら、今自分たちにできることを考える。

【ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度】

改善点C

能力・態度⑤ 他者と協力する態度・・・相手国に絵画を届けるという目標をもって活動することを通して、自国の仲間と協力して作品を創り上げる態度を育てることができると考える。

改善点D

能力・態度④ コミュニケーションを行う力・・・絵画を通して互いに自分の国の文化を知らせ合うとともに、自分たちの思いを絵に込めて表現したり、相手国の人たちの気持ちを受け止めようとしたりする力を育てることができると考える。

改善点E

能力・態度② 未来像を予測して計画を立てる力・・・相手国について理解し、どのように受け取るかを想像しながら、自分たちが望む未来像を描く力を育てることができると考える。

【表2：よりESDの視点に即した実践に改善するための検討】

単元名「国際人になろう」 学習内容 世界にはさまざまな文化や民族があることを知り、異文化を尊重する態度を養う。														
持続可能な社会づくりの構成概念							ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度							
I 多 様 性	II 相 互 性	III 有 限 性	IV 公 平 性	V 連 携 性	VI 責 任 性	VII そ の 他	① 批 判 的 に 考 え る 力	② 計 画 を 立 て る 力	③ 多 面 的 に 考 え る 力	④ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を 行 う 力	⑤ 他 者 と 協 力 す る 態 度	⑥ つ な が り を 尊 重 す る 態 度	⑦ 進 ん で 参 加 す る 態 度	⑧ そ の 他
【多様】 ※1	【相互】 ※3	【有限】	【公平】	【連携】 改善点A	【責任】 改善点B	【他】	《批判》	《未来》 改善点E	《多面》 ※2	《伝達》 改善点D	《協力》 改善点C	《関連》 ※4	《参加》	《他》

(イ) 留意事項について

①教材のつながり

導入では、家庭科で学習した「季節に合わせたくらしの工夫」を「世界の気候に合わせたくらしの工夫」につなげて世界へと目を向けさせる。また、世界の国々について調べたり体験したり制作したりしたことを、社会科「日本とつながりの深い国々」「国際連合と日本人の役割」の学習につなげることによって、実感を伴った理解ができると考えられる。

②人のつながり

言語での相互理解が難しい外国の人たちと、「アートマイルプロジェクト」を通して絵画で交流する。また、作品を仕上げるために自国の仲間と協力して活動する。

③能力・態度のつながり

本単元の学習を通して、広く世界に目を向け、日本の役割や自分たちにできることを考え、実践しようとする意欲と態度を育てることができると考える。

## ウ 授業の実践

### (ア) 単元の目標

異文化に視野を広げ、世界には日本と違ったさまざまな文化や民族があることを知る。また、韓国との「アートマイルプロジェクト」に取り組むことによって、生の異文化に接して相手を理解したり、自国文化を伝えることで自分たちのよさを再確認したり、自分たちの思いを絵に表し、相手に伝えたりすることができる。

### (イ) 単元の計画（全38時間）

次	時間	学習活動	主として関わる E S Dの構成概念	具体的な活動内容 (E S Dの重視する能力・態度)	評価の観点 ・評価規準
1	3	異文化について調べ、テーマを決めよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界には、気候に合わせて建物や衣装などに、さまざまな暮らしの工夫があることを知る。</li> <li>A L Tに日本に来て文化の違いで驚いたことや、感じたことをインタビューする。</li> </ul>	<b>【認知・認識】</b> ・学習の見通しをもち、意欲的に取り組もうとする。
2	8	外国の文化を紹介するパンフレットを作ろう		<ul style="list-style-type: none"> <li>図書資料やインターネットを活用し、異文化の暮らし方の工夫を調べる。</li> <li>外国の文化を紹介するパンフレットを制作する。</li> </ul>	<b>【思考・判断】</b> ・外国の文化に関する情報を集め、判断して、分かりやすくまとめる。
3	6	リトルワールドを訪問し、暮らしの工夫を体験しながら調べよう	多様性 (世界にはさまざまな文化があることを知る)【※1】 相互性 (互いに関わり合っていることを知る)【※3】	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化の違いがどんな条件と関連しているのかを考える(多面的、総合的に考える力)【※2】</li> <li>自分も世界の人々とつながっていて、国際人としてそのつながりを大切にしようとする(「つながりを尊重する態度)【※4】</li> </ul>	<b>【思考・判断】</b> ・外国の文化について比べたりつなげたりして考え、自分の感想をもつ。
4	9	アートマイルプロジェクトの相手校(韓国)と交流をしよう		<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介カードを交換する。</li> <li>学校紹介のコマーシャルを制作し、交換する。</li> <li>韓国について学習する。</li> </ul>	<b>【実践的態度】</b> ・主体的に発信したり、相手から学ぼうとしたりする。
5	9	壁画の構図を決め、日本側の部分を制作しよう	連携性 (互いに協力して一つの作品を創り上げる)【改善点A】	<ul style="list-style-type: none"> <li>自国の仲間たちと協力して作品を創り上げる(他者と協力する態度)【改善点C】</li> <li>自分たちの思いを絵に込めて表現したり、相手国の人たちの気持ちを受け止めようとしたりする(コミュニケーションを行う力)【改善点D】</li> </ul>	<b>【実践的態度】</b> ・壁画の制作に仲間と協同的に取り組む。



6	3	完成作品を鑑賞し、活動を振り返ろう	責任性 (望ましい将来像を描きながら、今自分たちにできることを考える)【改善点B】	・自分たちが望む未来像を描く(未来像を予測して計画を立てる力)【改善点E】	【実践的態度】 ・完成した壁画から相手の思いを推察し、望ましい未来像を描く。
---	---	-------------------	--	---------------------------------------	---

(ウ) 実践記録

①「アートマイルプロジェクト」の相手校と交流をしよう

「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」に参加を申し込み、交流の相手として韓国のムンベク小学校の6年生を紹介してもらった。

まず、ムンベク小学校の6年生が手紙を送ってくれた。子どもたちは、一人一通届いた手紙をうれしそうに開き、英語・ハングル・ひらがなの交じった文章を読み、友達同士で楽しそうに見せ合っていた。内容を全て理解することはできなかったが、同じ6年生が英語やひらがなを書けることに驚いていた。



韓国から届いた手紙を読む

その後、一人一人が自己紹介の手紙を書いて韓国に送った。外国語活動で学習した「I like～」のような簡単な英文を書いたり、インターネットでハングルのあいさつ文を調べたりした子どももいて、「英語やハングルで返事を書きたい」という思いが伝わってきた。また、韓国の国旗を調べ、日本の国旗と並べて描いたり、両国の子どもが握手をしている絵を描いたりする子どももいた。



学校紹介の映像を見合う

次に、グループに分かれて学校紹介の映像を制作した。子どもたちは、校内の風景や学習の様子をナレーション付きで撮影した。学校生活を劇にして撮影するグループもあり、台本を英語にするために、海外出張の経験のある父親や英語塾の先生に手伝ってもらっていた。

映像が出来上がった段階で、学級内発表会を行った。お互いに学校紹介を見合い、感想を伝えたり改善点を出し合ったりした。同時に、緒川小のよさを再確認することもできた。その後、改善点を修正し、完成した映像を韓国に送った。

韓国からも同じように学校紹介の映像が届いた。

②韓国について学習しよう

ちょうどこの頃、竹島をめぐる領土問題が表面化し、連日、新聞やテレビで報道された。小学生といえど、これから韓国と交流していくのに、この問題を避けて通ることはできない。そこで、竹島の問題を分かりやすく解説したテレビ番組を視聴させ、感想を書かせた。島を分け合う、資源を分け合う、どちらかが譲る、お互いが納得するまで話し合うなど、子どもたちなりに考えた解決策が出されたが、どの子どもにも共通していたのは、戦争にならないように平和的に解決したいという点だった。

③壁画の構図を決め、日本側の部分を制作しよう

韓国についての学習をした上で、壁画のテーマを学年で話し合い、「将来の夢」にしたいということになった。このことをムンベク小学校に伝えたところ、賛成してくれた。

さらに、壁画のテーマに沿って韓国のことを調べた。その上で、壁画の構図についてアイデアを出し合い、話し合って、大まかな構図の案をまとめた。

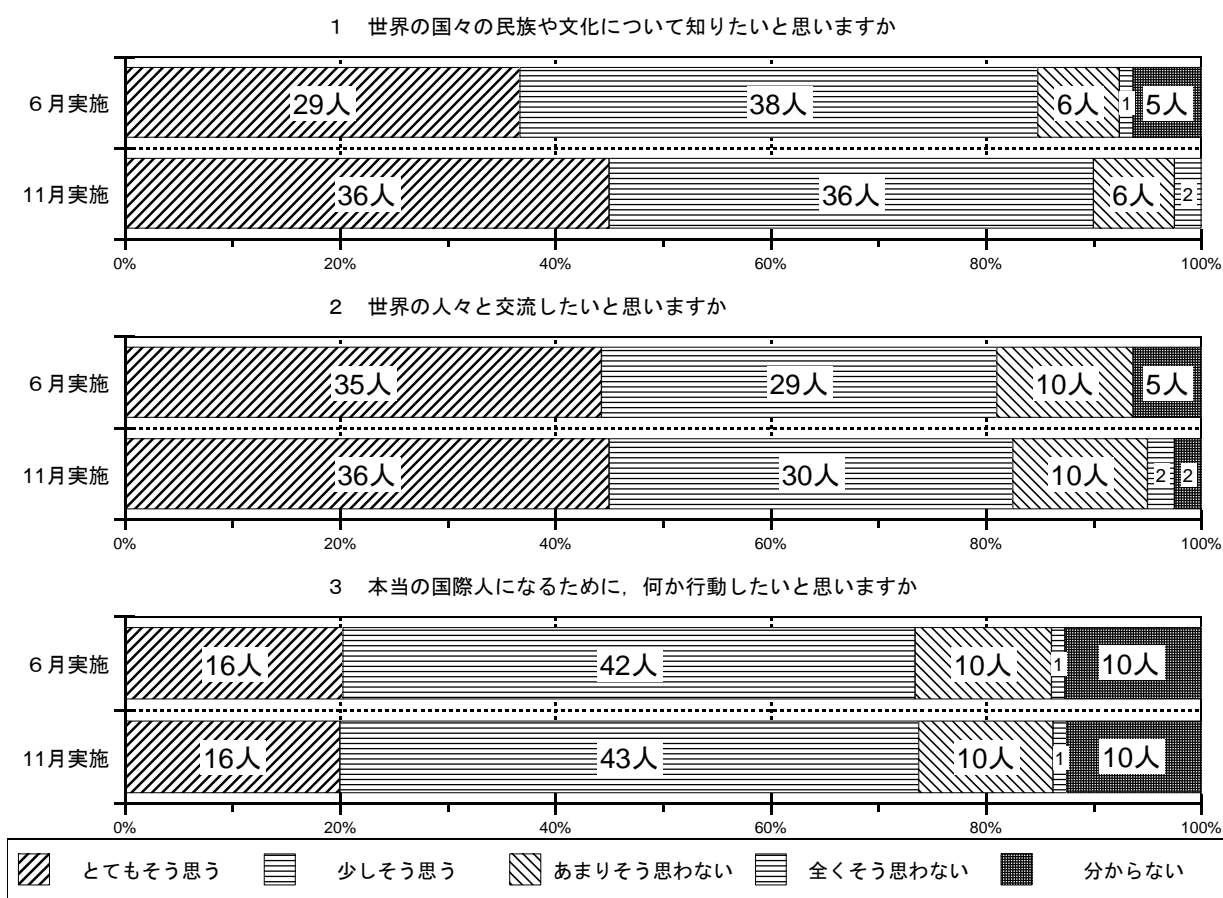
これをムンベク小学校に送って了解してもらえれば、今後、12月に壁画の半分を本校が描いて送り、1月にムンベク小学校が半分を描いて完成する。そして、3月には完成した壁画が緒川小に送られてくる予定である。

### (3) 評価

ESDを取り入れたことによる子どもたちの意識の変容を評価するために、学習の前半（6月）と後半（11月）に3つの項目でアンケートを行った。結果は以下の通りである。

#### ESDに関するアンケート結果

[第6学年児童79名（6月）、80名（11月）に実施]



1と2からは、「知りたい」「交流したい」という回答が若干増えていることと、「分からない」という回答が減っていることが読み取れる。3では、「行動したい」という意識に学習前半と後半でほとんど変化が見られなかった。

後半のアンケートを実施した11月は、まだ単元の途中で、メインの活動である壁画制作にも取りかかっていなかった。そんな状況でも「分からない」が減っていることから、ここまでの学習で子どもたちが感じたり考えたりして、自分の意志をもつようになったとも考えられる。しかし、「何か行動する」となると具体的に思い浮かべることができず、変容がなかったということも言える。学習の中に、「課題解決のために行動している」と思える活動を仕組むことが必要であった。

そんな中でも、「どのような行動をしたいか」との問いに対する記述では、「困っている外国人がいたら『自分だったら』と考えて行動したい」「お互いのことを知り、みんなで助け合う」「相手の

国を理解し、尊重し合い、支え合っていこうと思う」といった意見もあり、E S Dの歩みを一歩進めることができたのではないかと思う。

アンケートを通して、単年度の実践だけでなく、6年間の継続した取組の必要性を改めて感じるとともに、評価によって明らかになったことを授業改善に生かしていきたいと思った。

## 6 研究のまとめと今後の課題

### (1) E S Dの視点を生かした授業づくり

E S Dの実践を積み重ねることによって、授業や単元にE S Dの視点を導入する方法が分かってきた。昨年度実践した学年の事例を参考に、今年度は全学年でE S Dを取り入れた授業を行うことができ、学びが変わり、子どもが変わっていく姿をいくつも見ることができた。

1年の単元「おおきなあれ わたしのはな」では、一人一鉢で種から花を育てる活動に取り組んだ。発芽した花の苗に自分で名前を付けて呼んだり、世話の仕方をみんなで話し合ったりすることで、栽培を「自分事」と捉え、愛着をもって育てることができた。また、意図的に一鉢にいくつかの種を蒔いて複数の苗が育つ状況をつくり、ある程度育った段階で「1本を大きく育てるために、間引きをするかどうか」という正答の定まらない問いを投げかけ、話し合わせた。低学年でこのような話し合いをするのは難しいのではないかと考えていたが、子どもたちは自分なりに考え、「苗がかawaiiそうだから間引きはしない」「大きな花を咲かせるために間引きをする」「間引きした苗は捨てるのではなく学校の花壇に植える」といった意見を述べた。E S Dの可能性の広がりを感じた。

### (2) ユネスコスクールの利点

「ユネスコスクールになると何かいいことはあるのか」という質問をよく受ける。

6年の実践「アートマイルプロジェクト」は、昨年度のユネスコスクール交流会で実践発表を聞き、今年度、ユネスコスクールのウェブページで紹介されていたのに目を留めて、参加を申し込んだ。E S Dやユネスコスクールとの関わりがなかったら、気付くこともなかったであろう。

関わり、つながることで、子どもたちの学びが深まるとともに、大人も学び、自分の世界を広げていくことになる。そして、それを子どもに返していく。そんな営みの繰り返しの先に、持続可能な社会が見えてくるのかもしれない。

### (3) 今後の課題

「学校ぐるみでE S Dを」との目標に向かって、全学年で実践はしたが、まだ学校全体で系統的に取り組んでいるとは言い難い。1時間の授業、1つの単元の実践を蓄積していくことによって、学校全体のE S Dをつなげていく。その上で、6年間をかけて持続可能な社会をつくる担い手を育てていきたい。

## ※参考文献

- 1) 「New! E S Dカレンダーのすすめ」江東区立八名川小学校 2011. 6. 3
- 2) 「学校における持続可能な発展のための教育（E S D）に関する研究 最終報告書」国立教育政策研究所 2012. 3
- 3) 「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト（International Intercultural Mural Exchange）」ジャパンアートマイル<JAM> <http://www.artmile.jp/>

ESDの視点	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	テーマをかんがえよう② 主体的な思考											
自然とのつながり	きせつをたのしもうⅡ⑬ (1) おおきくなあれ わたしのはな ・はなをそだてよう 環境教育 (2) ヤゴきゅうしゅつだい さくせん 生命尊重 (3) なつとあそぼう ・ペアといっしょにプールであそぼう 体験型活動				きせつをたのしもうⅡ⑰ (1) おおきくなあれ わたしのはな ・はなのたねをとろう 環境教育 (2) あきとあそぼう ・おつきみだんごをたべよう ・おだいこうえんへいこう 体験型活動				きせつをたのしもうⅢ⑦ (1) おおきくなあれ わたしのはな ・きゅうこんをうえよう 環境教育 (2) ふゆとあそぼう ・おこしものをつくってペアをしょうたいしよう (関連：「ペアの6年生ありがとうのかい」をひらこう) 体験型活動			
社会とのつながり	ぼくもわたしもおがわっこ(入門期)⑧ ぼくもわたしもおがわっこⅠ⑭ (1) がっこうのことをつたえよう ・「あくしゅだいさくせん」をしよう ・「がっこうたんけん」をしよう つながり重視 (2) くにをつくろう つながり重視				ぼくもわたしもおがわっこⅡ (1) がっこうのことをつたえよう ・フェスティバルをつくろう (コーナー) 主体的な行動 やりとげたときの達成感 つながり重視 (2) かぞくパッピーだいさくせん 問題解決型学習 体験型活動 肯定感 (3) ねんちょうさんをしょうたいしよう 問題解決型学習 主体的な行動 (4) おてつだい名人になろう 問題解決型学習 体験型活動 肯定感 (5) くにのしごとをたしかめよう 問題解決型学習 体験型活動 主体的な行動				ぼくもわたしもおがわっこⅢ⑯ (2) くにのしごとをまとめよう 問題解決型学習 体験型活動 主体的な行動 (3) がっこうのことをつたえよう ・「しん1ねんせいをむかえるかい」をひらこう (関連：国) ・「かぞくへありがとうのかい」をひらこう (関連：国) ・「ペアの6年生ありがとうのかい」をひらこう (関連：学) やりとげたときの達成感 つながり重視 肯定感			
人とのつながり												
教科等との関連	<道徳> 感謝の気持ちをもって 学校でお世話になっている人への感謝				<国語> これはなんでしょう 発表会 関わる人が互いに学び会える		<道徳> 家族への気持ち 家族の役に立つ喜び		<国語> ことばっておもしろいなことばをたのしもう 発表会		<国語> おはなしをたのしもう おもいだしてかこう 発表会	<学活> 6年生にありがとうをつたえよう 感謝の気持ち

ESDの視点	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	活動を考え、テーマを決めよう② 主体的な思考											
自然とのつながり	やさいをそだてようⅠ⑫ ガイダンス・苗植・観察栽培活動				やさいをそだてようⅡ⑮ サツマイモの収穫・冬野菜の苗植栽培活動・体験型活動				やさいをそだてようⅢ⑧ 冬野菜の収穫体験型活動			
社会とのつながり	お川のまちをたんけんしようⅠ⑮ ガイダンス・コース決め プレ探検・まとめ 体験型活動・地域連携				お川のまちをたんけんしようⅡ⑳ ガイダンス・本探検・発表会・まとめ 体験型活動・地域連携・多様な立場の人と学ぶ				ゆうびんきよくをひらこう④ 郵便活動 体験型活動			
人とのつながり					フェスティバルをつくろう⑦ ガイダンス・コーナー 主体的な行動・やり遂げたときの充実感 関わる人が互いに学び合える				あんなに小さかったのに⑩ 自分の成長を振り返る・まとめ 生命尊重・多様性の尊重			
教科等との関連	<国語> だいじなことをおとさずに話したり聞いたりしよう プレ探検発表会 関わる人が互いに学び合える				<国語> しょうかい文をかこう 新聞作り <音楽> おまつりの音楽 太鼓の音色やリズム <道徳> 大すき緒川おせわになった人へ 郷土に愛着をもつ <国語> 図書館のひみつをさがろう 本探検発表会 関わる人が互いに学び合える							

ESDの視点	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     活動を考え、テーマを決めよう③                 </div> テーマの話し合い 主体的な思考																			
自然とのつながり																				
社会とのつながり	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         おじいさん、おばあさんから学ぼう                          東楽会の人たちとなかよくなろうの会をしよう⑤                     </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         おじいさん、おばあさんから学ぼう                          昔の遊びを作ろう⑭                     </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         おじいさん、おばあさんから学ぼう                          昔のくらしを体験しよう⑧                     </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         おじいさん、おばあさんから学ぼう                          体験したことを生活に生かそう⑥                     </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         おじいさん、おばあさんから学ぼう                          戦争のころの話を聞こう④                     </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         おじいさん、おばあさんから学ぼう                          ありがとうの会を開こう⑱                     </div>	
人とのつながり	昔の話を聞く 多様な世代の人と学ぶ 体験型活動・地域連携				昔の遊び作り (竹馬・竹ぼっくり・竹笛 竹てっぽう・竹とんぼ)				昔のくらし体験 (すいとん・おにまんじゅう・七輪・縄ない・五右衛門風呂) 多様な世代の人と学ぶ 体験型活動・地域連携				フェスティバルを創ろう⑫ シンボル・コーナー 子どもの主体的な思考 やり遂げたときの充実感				戦争のころの話を聞く 多様な世代の人と学ぶ		東楽会の人たちに感謝する会 子どもの主体的な思考や行動 やり遂げたときの充実感	
教科等との関連	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;国語&gt;                          手紙を書こう                     </div> お礼の手紙				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;社会&gt;                          昔の道具と人びとのくらし                     </div> 地域の人々の知恵や願い 地域連携		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;社会&gt;                          昔からつたわる行事                     </div> 地域に残る文化財や年中行事 地域の文化財		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;国語&gt;                          物語の感想をまとめよう                          (ちいちゃんのかげおくり)                     </div> 戦争に関する物語 平和教育		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         &lt;道徳&gt;                          お年寄りに感謝しよう                     </div>									

ESDの視点	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	テーマを決めて、活動内容を考えよう② 主体的な思考											
自然とのつながり	環境問題について考えよう 自分にもできるエコ活動を考えよう⑤ 調べ学習 環境教育・主体的な行動 やり遂げたときの充実感		環境問題について考えよう 自分にもできるエコ活動をしよう⑤ 緑のカーテン作り 環境教育・主体的な行動 やり遂げたときの充実感									
社会とのつながり	環境問題について考えよう 環境問題について知ろう⑩ 校外学習 地球環境教室 環境教育・体験型活動・地域連携 (クリーンセンター・浄水場)				環境問題について考えよう 学年でできるエコ活動をしよう⑥ 地域のごみ清掃、エコ・モニュメント作り 環境教育・体験型活動・地域連携				1/2成人式に向けて10年の人生をふりかえる⑥ 1/2成人式をつくろう⑧ (環境に関連)			
人とのつながり					環境問題について考えよう 環境に関する自由研究発表会② 個人活動のまとめ 環境教育		環境問題について考えよう 環境をテーマにフェスティバルをつくろう⑭ コーナー モニュメント 環境教育・主体的な行動 関わる人が互いに学び合える		1/2成人式に向けて10年の人生をふりかえる⑥ 自分の人生に関わった人 主体的な行動		1年間の学習のまとめ② 相互発表 関わる人が互いに学び合える	
教科等との関連	<社会> ごみのしまつと活用 ごみ処理に関わる対策や事業		<社会> 命とくらしをささえる水 飲料水の確保に関わる対策や事業		<理科> 春と植物 夏と生き物 植物を育てる		<国語> 調べて発表しよう 自由研究発表会 関わる人が互いに学び合える					

ESDの視点	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	活動を考え、テーマを決めよう② 主体的な思考											
自然とのつながり	羊の世話をし動物の命を学ぼう② 飼育活動・体験型活動											
社会とのつながり	東楽会の方から学ぼう会① 代かき・田植え・一人一鉢の米作り（東楽会の方から学ぶ） 栽培活動・体験型活動・地域連携 主体的な思考や行動 多様な世代の人と学ぶ											
人とのつながり	命のエネルギーのつかい方を考えよう 命について語る会②（外部講師） 命のつかい方を話し合おう① 林間学校を創ろう⑪（命のつかい方実践Ⅰ） 自主運営キャンプ・「食」を見つめ直す 主体的な行動・つながり重視 やり遂げたときの充実感											
教科等との関連	<家庭科> ごはんと味噌汁をつくろう <理科> 発芽と成長 <社会> 米作りのさかんな地域 <道徳> 畏敬の念をもとう <社会> 米作りのさかんな地域 <国語> 自分の考えをまとめて討論をしよう											
	お米を育てて植物の命を学ぼう⑧ お米を育てて植物の命を学ぼう⑨ 鳥対策・稲刈り・稲こき（東楽会の方から学ぶ） 栽培活動・体験型活動・地域連携 主体的な思考や行動 多様な世代の人と学ぶ											
	東楽会の方への感謝（収穫した米でおにぎりをにぎり、味噌汁とおひたしも合わせて、お礼の会に招待する） 東楽会の方へのお礼の会② 多様な世代の人と学ぶ・地域連携											
	自分の命のエネルギーのつかい方を探ろう オープン・タイム（命のつかい方実践Ⅱ） フェスティバルを創ろう（命のつかい方実践Ⅲ）⑫ 主体的な行動 やり遂げたときの充実感 福祉実践教室② 多様性尊重 コーナー発表 主体的な行動 つながり重視 自分の命のつかい方を見つけよう⑨ 東日本大震災から学ぶ 生命尊重											
	自分の命のエネルギーのつかい方を確かめよう 自分の命のつかい方実践Ⅳと発表⑤ 6年生を送る会（命のつかい方実践Ⅴ）⑬ 生命尊重・多様性尊重 自己肯定感											